

アサーティブな対応で防ぐ

監修：森田汐生 NPO法人アサーティブジャパン

グレーゾーンの パワーハラスメント

アサーティブな対応で防ぐ

グレーゾーンの セクシャルハラスメント

女性社員を「女の子」呼ばわりするのは
やめてほしいなあ。



◀ サンプル視聴用

グレーゾーンの
パワーハラスメント



◀ サンプル視聴用

グレーゾーンの
セクシャルハラスメント

※携帯電話またはタブレット等
でご覧ください。
WiFiの環境によっては
画像が乱れる場合があります。

そういう言い方される
のは、不愉快です！

不愉快とはなんだ！



失敗例

グレーゾーンのパワーハラスメント編
(23分)

グレーゾーンのセクシャルハラスメント編
(23分)

字幕選択式 DVD 各60,000円(税別)

データ 各240,000円(税別)

—— ワークシート付・チャプター再生可 ——

悪気はないのはわかります
が、女性は見下されている
気持ちになるんです。

そんな風に感じてるなんて
気づかなかった。これから
は気をつけるよ。



アサーティブな対応例



監修 森田 汐生

NPO 法人アサーティブジャパン代表理事

岡山県生まれ。一橋大学社会学部卒業。大学在学中にデンマークに留学。その後、イギリス滞在中にアサーティブネスに出会う。大学卒業後、日本社会事業大学研究科で社会福祉士の資格を取得し、1991～93年、イギリスの地域精神医療団体にソーシャルワーカーとして勤務。その間、ヨーロッパにおけるアサーティブネスの第一人者、アン・ディクソンのもとでトレーナー養成講座を受け、アサーティブネス・トレーナーの資格を取得。帰国後、1999年に国立市に事務所を設立、2004年にNPO法人化。現在アサーティブネス・トレーナーとして全国各地で講演、研修を行っている。

目的

職場でのハラスメントは、人間関係に起因しているケースが多くあります。他者も自分も大切にするコミュニケーションの方法である「アサーティブ」により、伝え方や受け止め方を変えることで、人間関係の不和の予防・解決を目指します。各事例を用いて、実践的にアサーティブなコミュニケーションについて学ぶことができます。

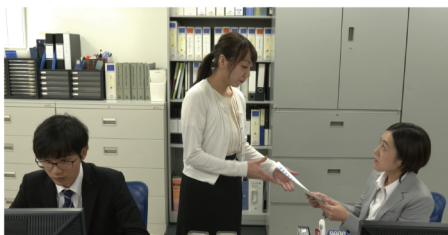
① グレーゾーンのパワーハラスメント

グレーゾーンのパワーハラスメントとは、強制されることが業務の適正な範囲内かどうか判断が難しい。または業務の適正な範囲内だが、伝え方などに問題がある場合をいいます。

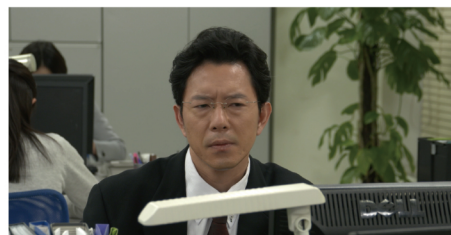
事例1 部下のパワーハラスメントに注意する



事例2 褒め方がわからない



事例3 呼び捨て（ロールプレイ）



事例4 人間関係の改善



事例5 パワハラ相談を受ける



事例6 適切な指導とは（ロールプレイ）



② グレーゾーンのセクシャルハラスメント

グレーゾーンのセクシュアルハラスメントとは、セクハラだと感じている人はいるが、その感じ方に合理性・妥当性があるか判断しづらい言動のことです。

事例1 女性差別



事例2 個の侵害



事例3 服装を注意する



事例4 他者のセクハラを注意する



事例5 飲み会を断る（ロールプレイ）



事例6 お酒の席での揶揄（ロールプレイ）



(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101